

社会貢献

秋田大学は、平成16年度の国立大学法人化を契機に、教育・研究・社会貢献を大学運営の重点事項として掲げ、公共的な知の拠点として大学開放事業を推進しています。

本学の社会貢献活動の根底には、学生のみならず生涯学習も教育の一環であり、社会の人々にも積極的に教育資源を提供していこうという思いが込められています。そのコンセプトを基に、様々な活動を展開しています。また、小中学生・高校生やその保護者を対象とした企画も実施しています。

地域連携・社会貢献事業

■公開講座

生涯学習の一環として、市民・県民の皆様どなたにも本学の良質な教育資源を提供するために、毎年多種多様なテーマで公開講座を開講しています。

※平成28年度開講の講座は本学公式ホームページをご覧ください。



■子ども見学デー

毎年夏休みに、小学生とその保護者の方を対象に「子ども見学デー」を実施しています。大学内の見学や研究室での実験、天体望遠鏡での観察など、様々な体験を通じて、大学に対する関心を高めてもらうことが目的です。



■自治体との連携

本学が持つ教育・研究資源の提供と、地域活性化の促進を目的に、秋田県内自治体と連携協定を締結しています。「地域に根ざした大学」を目指し、講演会や地域交流朝市、子ども向け科学教室の開催や、学生の地域交流等による地域貢献を行っています。

平成28年5月1日現在、秋田県を含む15の自治体と連携協定を締結しています。



■小・中学生等の大学見学受け入れ

小・中学校の総合学習や職場体験学習の一環として行われる大学見学等を受け入れています。職員が学内の施設を案内したり質問に答えたりしながら、本学を紹介します。

■メディカル・サイエンスカフェ・ネクスト

秋田大学社会貢献事業の全学的な取り組みとして、大学の持つ学術的知見を分かりやすく市民へ提供するため、学部間連携により各学部から講師を招き、医学系研究科長がサイエンスカフェ・マスターとなって、幅広い視点から医学・健康に関する話題を提供しています。

地域防災事業

1. 秋田県の特性を考慮した地域防災のあり方に関する調査・研究

- ①秋田県内の地震・防災について基礎的研究を行います。
- ②秋田県沿岸部で過去に発生した津波の影響範囲や履歴を調査し、津波被害の軽減について研究します。
- ③秋田県内に将来甚大な被害をもたらす可能性がある地震・津波について調査・研究します。



2. 防災について地域で活動できる人材の育成

地震災害が発生した場合に、地域住民自らが減災活動を行えるように、自治体・町内会、教育機関等で防災教育を実施します。



3. 県および市町村への防災施策に関する指導・助言

秋田県の地震被害の想定並びに地震防災対策を推進するために、県内自治体が考える防災・減災対策について、地域の特性を考慮しながら指導・助言を行います。

■資源開発・環境リサイクル研究開発事業

天然の鉱物資源や石油、天然ガス等のエネルギー資源に関する開発と生産・利用にはじまり、資源精製や素材生産、レアメタル等のリサイクルから環境修復技術に至る高度で独創的な研究を推進し、国際的な視野に立った先進的教育研究拠点を構築します。



■新素材・機能性材料開発研究事業

新素材・機能性材料開発事業では秋田大学における基礎研究成果を基盤とした新素材や先端材料の開発に関連した研究を推進し、地域の高等研究機関としての機能を果たすことで、これら研究をととして秋田県内企業、大学、公設試の連携による新産業や雇用の創出を目指します。



地方創生センター

地域と連携し、地域の活性化と発展等に寄与することを目指し「地域協働、地域防災」の事業を担っていた「地域創生センター」と、新産業創出のための独創的な研究開発推進や若手研究者の育成、産学官連携活動の促進など「新産業創出、人材育成」事業の役割を担っていた「ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー」、「ベンチャーインキュベーションセンター」等の既存の施設を再編統合し、平成28年4月

に新たに「地域協働・防災部門」及び「地域産業研究部門」の2部門からなる「地方創生センター」を設置しました。

地方創生に取り組む地(知)の拠点大学として、地域との協働による地域振興策の取組及び地域防災等の研究・支援並びに地域産業の成長に資する研究を推進し、地域を担う人材育成の推進と地域の産業振興、活性化に貢献します。

